

令和8年神戸町長選挙 立候補者アンケート

藤井 弘之 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、神戸町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

私は、NPO等の皆さんによるまちづくりへの参画を大いに期待しています。

現在、神戸町では、子育てなどの福祉分野、リサイクル活動等の環境分野、観光文化の推進等、様々な分野、地域での自主的なまちづくり活動がなされています。こうした活発な町民活動が本町の強みでもあります。

多様化する町民ニーズへの対応や地域の特性を生かしたまちづくり、地域課題の解消を図るため、町民自治によるまちづくりをより一層強化、推進し、地域コミュニティの活性化を目指していきます。

2) NPOやボランティア団体への活動支援施策について(300字以内)

NPO等の団体が神戸町にて、様々な公益的な活動に取り組んでいます。「神戸町まちづくり活動助成金事業」など、地域づくりに取り組む団体への助成事業も行われています。今後もNPO等の活動をより推進していくために、補助等資金的な支援も含めて活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はお考えの支援施策等がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

私は、前回選挙の公約に「NPOやまちづくり団体への交付金支援事業の構築」の実施を掲げ、設立間もない団体の育成、初動期の金銭的なサポートを目的とした「まちづくり活動助成金制度」創設を実現しました。さらには、「子ども食堂の運営」や「子ども居場所づくり」に特化した補助制度も創設しました。

今後も、町民自治によるまちづくりを進めるため、地域課題や町政に関する情報を町民と共有するとともに、持続可能な活動の支援に努めていきたいと考えています。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「神戸町第6次総合計画 基本目標5 住民と行政が力を合わせて創るまちづくり」では、町民団体と神戸町の協働によるまちづくりの取り組みの必要性について書かれています。今後も、NPO等を含めた団体との協働関係を築き、協働関係を発展させていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

人口減少や少子高齢化を背景として、地域では、世代間交流の機会や地域活動の担い手が減少しつつあります。また、地域のつながりの希薄化により、地域活動の形態が多様化し、従来型、または伝統的な活動への関心等も低下傾向にあります。

私は、より一層の町民参画の促進を図るため、今後も、NPO等の設立・活動を支援するとともに、団体間のネットワークを構築する環境を整え、調整機能の強化を図っていきたいと考えています。さらには、まちづくりの担い手の支援や育成に努めるとともに、多くの町民がまちづくり活動に参加しやすい環境づくりを進めていきます。

ご協力ありがとうございました。